

平成20年度 第9回 保見地域会議 会議録

日 時：平成20年10月17日（金） 19：00～21：15

場 所：猿投北交流館 多目的ホール

出席者：地域会議委員：14名

会 長 鈴木 進

副会長 井原 邦和

委 員 浅井 雅之 井原 高俊 篠田 修 杉山 光弘

鈴木ゆかり 西村 靖彦 平野 鋒芳 藤原 敏範

正木 恒男 松原 三良 水嶋 清行 渡辺 秀己

猿投支所 今井 鉦 篠田 博 成田 和伸

傍聴人：なし

次第

1 地域会議会長あいさつ

2 協議1 地域自治システムについて

3 協議2 保見地域のまちづくりを考えるアンケート結果について

4 情報交換 猿投地域代表者会議について

5 事務連絡 次回の地域会議について

議事等（要約）

協議1 地域自治システムについて

事務局

- ・ 地域予算提案事業の予算の項目で、「1つひとつの事業の必要経費を積み上げ、2千万円/地域会議・年度を上限とする。」ことを追加説明した。

- ・ 足助地域における「通学路の環境整備としての生活竹木伐採事業」（国道の一部区間において、登下校の際に支障となる竹・木の伐採作業にて、高所作業車の手配等の費用の予算化＝行政負担）は、このシステムの例としてあらためて紹介した。また、猿投地域会議で議論された「不耕作農地あるいは荒廃農地対策」として、行政の役割（ボランティアの募集等）、行政の負担（ボランティアが作業する農耕車両の費用を負担）、住民の役割（ボランティアへの指導等）も一例として説明した。

- ・ 協議1資料（質問と回答）にもとづき説明を実施。

国・県の権限に係るものは、除くとするなど説明。

- ・ 平成21年度のこの事業として、別添資料「多文化共生・共存への取組み企画書（案）」を提示し、説明した。

委員

- ・ 内容は一部地域に偏り過ぎていないか？来年度の事業実施に向けてのスケジュールはどのようになるのか？どのような事業が対象になるのか？

事務局

- ・ アンケート結果から、保見ヶ丘以外の自治区にも関心が多いことと、近年の課題解決として提案した。

委員

- ・ 外国人とのかかわりは、行政・地域そして企業が協力し合うことが重要である。

委員

- ・ わくわく事業は審査するだけの立場だが、この地域予算

- 提案事業では事業計画書を作るのは地域会議であり、その意味では折角の2千万の枠を活用しきれないとすると、地域会議委員の力量を問われることになる。
- 委員
- ・ この地域会議でも、自治区によって外国人との共生への実行動となると、温度差は生じていると考えるので、地域としての合意形成は困難だと考える。
- 委員
- ・ 保見ヶ丘でもアンケートの結果と地域合意とでは違った答えになることもある。例えば、自治会費を払わないとか、税金を払わないとかの現実から、この取組みは必要ないと判断する人も出てくるだろう。猿投支所は、この取組みは、現在の夏祭りに乗かっていくのか？
- 事務局
- ・ 現在の夏祭り（サマーフェスタ）に便乗し、発展させたものとしたい、と考えている。
- 委員
- ・ 現在の実行委員会、あるいは自治区などとの調整が大変でしょう。また、例えば、サンバの踊りは神聖な夏祭りには、不適と考えられている方も大勢いる。そして、外国人の実態は、不自由していないと思ってる外国人が多いことだ。
- 委員
- ・ 個人的には、NPOの実力が未知数だと感じているし、今年のように、日本・ブラジル交流年で、各団体がいろんなイベントを企画した、それぞれの団体やイベントの役割が連携されていない中、支所は各自治区やこの地域会議委員に役割を押し付けても困る（現在でも忙しいのに、これ以上は協力できない）。
- 委員
- ・ 外国人はバーベキューや自分達が得することには参加する、特にお金儲けに繋がることは。
- 委員
- ・ 先日、ある大臣の日本は単一民族であるという発言で、外国人が多く生活するこの保見ヶ丘に、ニューヨーク・タイムズ紙が取材にきた。数人くるのかと思ったが、カメラマンと記者の二人で、時間も遅れてきた。このことで、外国人は時間にルーズということと、その内容により最低の人数で対応するというのを、あらためて思い知らされた。
- 委員
- ・ 外国人は集合時間ということは、日本人ほどシビアに考えない、ほんの目安程度、また組織化を考えようとするのはほとんど無い。
- 委員
- ・ この問題だけでは、地域の合意形成が難しいのでは。やはり防犯（通学路問題等）とか複数提案しないと、保見地域全体の課題としては、考えにくいと思う。事務局の提案は先走りでないか、地域会議委員から事務局案は、と聞かれてから提案すべきではないか。
- 委員
- ・ 今年のふれあい祭りの状況を見て、再度判断してはどうか？
- 委員
- ・ アンケート結果からは、他の課題に対しての方が、関心が多いと見てとったが。自治区長が申請しているのはダ

メ、従来からの要望方式のものはダメ、それであればこの中アンケート結果では、どのような事業が地域予算提案事業となるのか？

- 事務局
協議 2
事務局
- ・ 次回、対象となる事業の例を説明する。
- 保見地域のまちづくりを考えるアンケート調査報告（抜粋）**
資料をもとに説明
外国人との共生については、地域自治システムとからめて説明を実施。
- 情報交換
会長
(委員)
- 猿投地域代表者会議の報告**
(1) さなげ座 2009 について
平成 21 年 8 月に井郷地区を中心として、実施する。それは、猿投コミセンの改修終わることも、場所の選定理由となっている。
(2) 三河線の延伸について
三河線の存続は、猿投全体の地域問題であり、5 地域会議が協力して取り組んでいく。
- 事務連絡
- 次回の地域会議**
日時：11 月 21 日（金）午後 7 時から。
場所：保見交流館 中会議室
内容：保見地域まちづくりについて（アンケート最終結果）
60 ページほどの冊子の配布